



「温かさ」を感じました

南帷子小学校長 堀田 誠

9か月前、真新しいランドセルを背負って南帷子小学校に入学してきた1年生も、すっかり学校生活になれ、そして目まぐるしいほどの成長をしています。9か月前、期待感でキラキラとした眼で入学した1年生でしたが、その瞳の輝きはさらに増したように感じます。ひらがなを覚え、最近は漢字まで書けるようになりました。算数ではくり上りの足し算も習いました。朝顔・さつまいもを栽培し、そしてその成長をしっかりと観察する力もつきました。4月は食べるまでに約40分ほど時間を要していた給食の配膳も、当番などの素早い動きで、20分もあればいただきますができるようになりました。日直の司会、電気の付け消し、朝の健康観察、先頭で並ばせるなど、自分の係にやる気をもって頑張ることで、できることが増えてきました。考えてみれば、1年前と比べ、「できるようになったこと」がこの1年間でたくさんあったのではないのでしょうか。私自身は、1年前の自分を振り返り、何ができるようになったのかなと思うと、恥ずかしい限りです。それほど、子どもの成長曲線はすごいなと感じます。

さて、1年生では「お手紙を書く」学習を国語の時間でやりました。身近な人に手紙を書きましたが、その文面を見ると、久しぶりに「温かみ」を感じました。書かれている内容も素晴らしいですが、所々消しゴムで消して書き直した跡もあり、一文字一文字丁寧に一生懸命書いたのだなと思うと、本当にありがたく感じました。もしこれが、パソコンなどのIT機器で作成したものであったら、消しゴムで消して書き直した跡はないでしょう。それに、文字も均一なので、その子なりに一生懸命丁寧に書いたのだなとは分かりません。デジタルの便利さ・良さを否定するわけではありませんが、改めてアナログの良さを感じました。今年は覚えたひらがな・漢字を使って年賀状を書くのでしょうか。手書きの温かさを感じることも良いかもしれません。最近、メール、ラインなどの年賀状が一般的になっています。大きくなったらどうしても便利性を求めてしまいがちで、1年生からいただいたお手紙にハッとしました。

今年も大晦日に108の除夜の鐘がなります。改めてこの一年間を振り返り、そして新しい年を迎えます。良いお年を迎えてください。



2・4年生昇降口にある南天

